

平成30年度 第1回 備前市公共交通会議 会議録要旨

開催日時：平成30年8月17日（金） 14時00分～15時00分

開催場所：備前市市民センター 2階講座室

出席委員：田原 隆雄【備前市長】

今脇 誠司【備前市市民生活部長】

久保 聡志【西日本旅客鉄道（株）】

香西 正巳【県タクシー協会和気支部】

松下 重光【(株)インベタタクシー】

宇治橋 昭彦【備前市自治会連絡協議会】

更谷 暢久【備前市自治会連絡協議会】

原野 勝彦【備前市自治会連絡協議会】

三宅 陽【備前市老人クラブ連合会】

松本 和好【備前市老人クラブ連合会】

寺見 史朗【備前市老人クラブ連合会】

出席11名、委任状提出3名

専門委員：藤井 利佳【中国運輸局岡山運輸支局】

山崎 慎平【中国運輸局岡山運輸支局】

古家野 泰弘【備前警察署】

川井 一志【岡山県県民生活部県民生活交通課】

岡崎 行康【岡山県備前県民局建設部東備地域管理課】

青砥 良定【瀬戸内市総合政策部企画振興課】

事務局：市民生活部公共交通課

杉田（課長）、森本（係長）、千田

1. 開会

2. 会長あいさつ

みなさんこんにちは。西日本豪雨災害ではおかげさまで備前市はこれといった被害もなく安堵しているところでございます。そのような中、今日は公共交通会議を開催しましたところ公私ともお忙しい中、出席いただきましてありがとうございます。

公共交通問題は、買い物、通学、通勤、福祉、教育、日常生活にかかわる内容になっております。備前市は民間企業からバス事業を引き継いで市営バスとして運行いたしております。まだまだ十分でない部分もあるかと思いますが、忌憚のない意見をお聞かせ願いたいと思います。

9月15日から、JRさんのご協力によりICOCAが使えるようになります。大変喜ばしいことでございます。ICOCAが利用できるようになれば、また新たな交通体系の出発点でもあります。ICOCA記念ということで、赤穂市、上郡町、備前市の東備西播定住自立圏構想の中で、上郡駅で記念式典をおこない、備前市としては、記念イベントとして吉永町でビール祭りを開催したいと考えており、一人でも多くの乗降客を集めることによりJRさんにも強く増便をお願いしたいと考えております。

また、議会の協力はいただいておりますが、記念のICOCAカードを発行して、市民の皆さんにも広く利用していただくことも一つの方法ではないかと事務レベルで協議していただいております。

本日の公共交通会議では、よろしくご審議の程お願いいたします。

3. 協議事項

(1) 既存路線の新規バス停の設置及び一部ダイヤ改正について

－事務局からの説明（資料① P1～P10）－

協議に入る前に、平成29年度の市営バスの利用実績についてご報告いたします。

まず、概要についてご説明いたします。現在、バス車両9台、ワンボックスタイプの普通乗用車9台の計18台を使用して直営3路線、委託7路線の市内10路線を運行しております。上の表は、平成28年度と平成29年度との利用実績についてまとめております。平成29年度より新規に運行いたしました頭島線の利用人数4,691人を除いても1,191人の利用増となっております。

また、下の表につきましては、今年と昨年の6月末時点での比較についてまとめてあります。6月末時点ではありますが、前年同月比2,484人の利用増となっております。利用増の要因といたしましては、平成30年度よりタクシーチケットを市営バスにも利用できるようにしたためと推察しております。

それでは、次第に沿って協議事項（1）既存路線の新規バス停の設置及び一部ダイヤ改

正 についてご説明いたします。

まず、新規のバス停の設置についてですが、こちらは、新規バス停設置予定の家中（仮称）バス停位置図でございます。ここは、伊里地区麻宇那の新幹線北側の集落になります。市営バス三石線、寒河蕃山伊里線が運行ルートの対象となりますが、地元の方よりバス停を設置してほしいとの強い要望がございまして、新規にバス停を設置したいと考えております。

なお、設置場所につきましては、市の所有地内へ設置することとしております。

つぎに、寒河蕃山伊里線（月・火の時刻表案）ですが、新規バス停の設置に伴いまして、新たに＜仮称＞家中、山田原バス停を経由するルートを設置し、あわせて路線内のダイヤを調整したいと考えております。なお、変更部分については、赤字で修正しております。

つづいて、寒河蕃山伊里線（水・木・金の時刻表案）ですが、この1便につきましては、乗降調査によりまして、蕃山の佐那高下のバス停より後、福浦峠から河内橋までの利用がないため、福浦峠から河内橋間のルートを廃止し、佐那高下以降は直接シーサイドプールへ向かえるようにしたいと考えております。また、新規バス停＜仮称＞家中の設置に伴いまして、あわせて路線内のダイヤを調整したいと考えております。

つづきまして、三石線でございます。これについても、新規バス停、＜仮称＞家中の設置に伴いまして、ダイヤに家中バス停を追加しております。また、備前緑陽高校から終業後及び三石方面への通学方法の確保について要望があり、片上から三石行きの夕方の2便のダイヤを改正し利便性を高めていきたいと考えています。

つぎに、日生線ですが、これについては、日生から久々井の運動公園へのアクセスを改善してほしいとの要望がありまして、このたび2便ではございますが、日生線、福浦峠9時45分発と11時20分発の便を20分と10分はやめ、東鶴山線、片鉄片上発の便と接続できるようにしたいと考えております。また、日生駅でのJRとの接続が可能な便については、市営バスの時間を調整し、JR赤穂線と接続できるよう、着、発の時間を設けたダイヤ改正を考えております。

つぎに、八搭寺線でございます。こちらについては、八搭寺ヴィラ前から吉永病院前行きの便についてJR山陽本線への接続をよくしてほしいとの要望がございまして、平日及び土日、祝日の便について、市営バスの時間を調整し、JRと接続しやすくなるよう利便性を高めていきたいと考えております。

つぎに、南北関谷学校のぞみ線でございます。こちらについては、実際に走行した結果、ある区間ではタイトであったり、ある区間では余裕のある区間があったりと、バス停間での調整の必要性が生じたため、若干の調整をおこなっております。また、それにあわせて、伊里駅でのJRとの接続が可能な便については、JR赤穂線とも接続できるようダイヤ改正を考えております。

つぎに、東鶴山線でございます。こちらについては、運行の状況によっては、長船駅でのJRとの接続に余裕のない日がでてくるということもございまして、接続に若干の余裕をもたせ、17:45分発を17:43分発として1便だけではありますがダイヤ改正を考えており

ます。

以上で、簡単ではございますが、既存路線の新規バス停の設置及び一部ダイヤ改正 について説明を終わります。なお、それぞれ 10 月から改正したいと考えております。

会 長：ただいま既存路線の新規バス停の設置及び一部ダイヤ改正について意見や質問はありませんか。

委 員：J R と市バスの接続について改善されたということですね。宇野バスとの接続はどうなんでしょうか。

事務局：宇野バスについても、検討しております。ダイヤについても接続が可能な便については、今後も工夫していきたいと考えています。

委 員：第 1 回ということで、今後は、市バスの時刻表をつけていただければと思います。

事務局：次回から参考に添付させていただきます。

会 長：ほかに質問はありませんか。ないようですのでこちらの議案につきましては承認ということでよろしいでしょうか。

－異議なし。－

（２）フリー定期乗車券について

－事務局から説明（資料② P11）－

市営バスの現在の料金体系でございます。今回、現在の料金体系を一部変更し、赤字で修正しています。具体的な内容でございますが、これまでの定期乗車券は、購入件数の低迷、料金の割高感、市営バスを乗り継ぐケースでは、複数の定期券を購入する必要がありさらに割高となっておりました。そこで、このたび定期券を新たに 70 歳以上の高齢者フリー定期乗車券、一般フリー定期乗車券、学生フリー定期乗車券とし、乗継にも対応した定期乗車券としております。さらに、料金を下げ利用しやすいものとしており、今後の利用促進を図って行きたいと考えております。

なお、この料金については、皆様にご承認をいただければ、今後 9 月議会で条例改正の手続きを行うこととなり、こちらも 10 月からの適用を考えております。

会 長：ただ今のフリー定期乗車券につきまして、ご意見はございますか。ないようでし

たらフリー定期乗車券について承認をいただけますか。

－異議なし。－

（３）アンケート調査の実施について

－事務局から説明（資料③ P12～P15）－

備前市においては、平成 25 年 3 月に策定した「備前市公共交通計画」を平成 26 年 3 月に一部見直しを行っておりますが、当時の状況から市内を運行する公共交通体系や人口分布、施設分布など社会環境や公共交通を取り巻く環境が大きく変化してきております。このようなことから、新たな備前市における地域公共交通計画の策定に向けて、備前市の公共交通の現状把握や市民の移動実態等を把握するアンケート調査を実施し、既存の備前市公共交通計画の評価と市内の公共交通に関する課題を抽出するものです。

参考までにご覧いただいておりますものが、アンケート調査の見本でございます。

このアンケート調査は、市内 3,000 世帯を対象に地理的要因や人口割合等に応じて概ね自治会や旧町村単位で無作為に抽出し、9 月以降に郵送により配布、回収することにしていきます。調査項目は、居住地、年代、運転免許証の有無などの個人属性や日常生活における移動の実態、公共交通の利用状況、公共交通に対する意識、その他自由意見を記載していただくことにしております。

会 長：ただいまアンケート調査について、ご意見はございませんか。ないようでしたらアンケート調査の実施については問題なしということで、ご承認いただけますか。

－異議なし。－

（４）瀬戸内市営バス（美和線）の路線変更について

－事務局から説明（資料④ P16）－

瀬戸内市営バス（美和線）の路線変更についてであります。お隣の瀬戸内市が昨年からは、備前市同様、市町村による自家用有償旅客運送の運行を行っております。そのうちの美和線が備前市の新庄地区へ乗り入れていますので、関係する地域公共交通会議の合意が必要なことから、今回、備前市公共交通会議で、皆様にご承認いただきたいということでございます。美和線につきましては、長船駅を起点として、長船町磯上、東須恵を経由し

て、邑久駅を終点とした運行ルートとなっており、このうち備前市内には新庄地区に 3 か所停留所が設置されております。今回変更する路線は、すべて瀬戸内市地内であり、備前市地内（新庄地区）の路線変更はありません。また、運行日、運行本数にも変更はありませんが、路線変更によりダイヤ改正が伴いますので、現行のダイヤをベースに調整し、各停留所において概ね 10 分以内の調整をおこなうこととしております。

会 長：ただいまの瀬戸内市営バス（美和線）の路線変更について意見や質問はありませんか。

委 員：備前市営バスが、青石から長船駅まで通っていますが、新庄あたりの人が乗れるようにならないのですか。稲荷山から福里を通って新庄に出て、マルナカを通って長船駅に行くルートが考えられるのであれば、費用対効果もありますが、将来的に検討願えればと思います。

事務局：瀬戸内市の路線の関係もございますので、瀬戸内市と協議しながら検討していきたいと思います。

会 長：ほかに意見はございませんか。ないようでございますのでこちらの議案につきましては承認ということでよろしいでしょうか。

－異議なし。－

会 長：以上で予定しております協議事項はすべて終わりました。
次に 4. 報告事項に移ります。

4. 報告事項

無料シャトルバスの運行について（資料⑤ P17）

I C O C A 記念式典について（資料⑥ P18）

市営バスでお出かけ体験について（資料⑦ P19）

通所付添サポート事業について（資料⑧ P20～P23）

事務局：

無料シャトルバスの運行についてご報告いたします。今月 8 月 4 日土曜日より、備前焼ミュージアムと旧閑谷学校を結ぶ無料シャトルバスを、土・日・祝日のみ、1 日 3 往復で運行しております。利用対象者は備前焼ミュージアム、旧閑谷学校のいずれかの施設の入

場券購入者で、各施設入場券販売所で利用申込みをおこなっていただきます。また、予約状況に空きがあれば、入場券の半券を確認させていただくことで予約なしでも利用可能としております。そのほか、シャトルバス利用者には、備前焼伝統産業会館のお買いもの5%の割引券を進呈しており、各施設及びシャトルバスの利用促進に努めていきたいと考えています。

つぎに、I C O C Aエリア拡大記念式典・東備西播記念イベントの開催についてですが、来月9月15日土曜日、午前9時30分から、J R山陽本線上郡駅、駅前周辺におきまして、I C O C Aエリア拡大記念式典・東備西播記念イベントを開催いたします。当日は、東備西播定住自立圏を形成する赤穂市、上郡町、備前市の2市1町の首長や議長に出席していただき、テープカットのほかI C O C Aを使った渡り初めが計画されています。そのほか、記念イベントとして圏域の果物や特産品の販売を行います。備前市からは、地域おこし協力隊のO Bらに協力していただき、2市1町の特産品販売ブースにおいて、それぞれが作製した農産加工品等を販売していただくこととしています。また、備前市内の西片上駅、吉永駅でも9月15日にI C O C A利用記念式典の開催についてご検討いただいております。

介護福祉課説明員：

市営バスでお出かけ体験について、特に高齢の方に市営バスを上手に利用してもらうきっかけづくりということで、いままで市営バスに乗ったことのない方に楽しく体験していただくような企画を計画しております。まだ企画途中です。案としては5名程度のグループで市営バスを利用したおでかけ、買い物とかランチの企画を申し込んでいただき、予定の日くにち集まって、バス停から目的地へ行っていただく、その際に、乗車した感想、今後利用できそうかどうか、改善点は何かといったアンケートを実施して、協力いただいた方に回数券を1枚さしあげる予定です。お出かけの体験には市職員あるいは社協にご協力いただいて同行する計画としています。10月から年末にかけて実施したいと考えています。

地域包括センター説明員：

岡山県の通所付添サポート事業について、今年度は岡山県のモデル事業として、備前市でも取り組んでいこうと考えているものです。高齢者の介護予防の事業になっています。備前市内に高齢者が集まるサロンが、約140か所ありまして、体操や会話やお茶会といった高齢者が集まって、元気に介護予防に取り組んでいる集まりがあります。そこに通所付添サポーターといって、足腰が弱くなって自力で外出できない閉じこもりがちな高齢者が、地域の通いの場を利用するために住民同士に必要な付添活動をおこなうものになっています。通所付添サポーターのイメージは、自宅から公民館までの付添をおこないます。主に2人1組で1人の高齢者を会場まで付添うことになります。必要な方には車の運転も伴っ

ていますが、活動の特徴として有償のボランティア活動になっていますが、付添に対する対価として利用料が発生するもので、車の送迎費用に対しては無料になっています。車両については、社会福祉法人の車両を空き時間に利用したり、市の方でリース車両を用意する予定になっています。通所付添サポーターの住民の方には岡山県が主催する養成講座を受けていただきます。岡山県の医学療法士、作業療法士といったリハビリテーション専門職に階段、車の乗降、坂道の付添い方など体の弱い方に対してどのような介助をおこなうかを学んでいただいて、付添活動をおこなっていただくようになります。運転が必要な場合は、運転免許センターで運転の適性検査であったり、実技講習をおこないサポーターとして活動していただきます。この活動をおこなうことによって、地域包括支援センターの事業目標としては、事業としての枠組みが出来ることにより、地域の利用者も送迎に遠慮せず作業に参加できるようになります。また、移動手段が確保できるためにサロンの参加者の増加が見込めるようになります。地域の顔見知りが増え、つながりが増えることで地域の住民同士の会話もつながることも目的としています。現在、三石地区の方でモデル事業として取り組むようにしています。8月に通所付添サポーター養成講習があり、その時三石地区から10名講習をうけていただく方がおられます。県の方と準備会議を行っていき10月下旬頃を目標にモデル事業の活動をスタートする予定となっております。この活動で皆様にご理解いただきたいのが、高齢者の介護予防の事業であって、個人の用事を対象とした事業でなく、あくまで自宅から公民館までの送迎ということでご理解いただければと思います。

会 長：以上、4点の報告がありましたが、何か質問はありませんか。

委 員：公民館という名称がでてきましたが、具体的にご説明ください。（通所付添サポート事業）

地域包括センター説明員：備前市内で140か所ぐらい、高齢者が集まって過ごしていただくサロンをしております。その会場が、地域にあります公民館であるとか自治公民館、集会所といったところで現在おこなわれています。そこに自宅から通って行かれるのに、このサポーターの方が付添をするという事業をおこなうということで、その会場が公民館ということです。

委 員：これは地域支援活動とは全く別のものですね。（通所付添サポート事業）

地域包括センター説明員：現在、介護保険であるとか、そういったもので行われている介護サービスとは別のもので自主的に行われているサロン活動であるとか認知症カフェと呼ばれている自主的に住民の方が行っているもの、場所、活動といったものをイメージしています。

委員：利用料が発生しますということで、どの程度を考えたらいいいのか。また、モデル事業として取り組んでいるということで試行的なものか、委託するものかそのあたりをお聞かせ願いたい。（通所付添サポート事業）

地域包括センター説明員：利用料ですが、今後、備前市の方で決めていきますので、まだ利用料がいくらになるのか設定はしておりません。ただ先行してモデル事業を行っている市町村に伺ってみると付添に対する対価は1回数百円程度の支払いをしていると聞いています。つぎに今後についてですが、補助金をいただいて来年の3月まで事業をおこなっていますが、実際に付添をしていただくサポーターさんといわれる一般市民の方に活動していただけることができますので、今後、備前市としてどのようにしていくのか、この半年の活動を見て検討していきたいと考えています。実際にサポーターとして意欲のある方も10名程度おられますので、その方については、何らかの形で活動していただけないかなと考えています。

委員：特に意見はありませんが、八搭寺線については、現状に沿った形態で修正を加えていただいております。ありがとうございます。

会長：他にありませんか。無いようですので報告事項については、終わりたいと思いますが、せっかくの機会ですので、その他について何かございますか。

委員：イコカエリア拡大式典の関係ですが、西片上駅以外の赤穂線ではしないんですね。

事務局：イコカエリア拡大記念式典ですが、備前市・上郡町・赤穂市の東備西播定住自立圏において上郡駅で開催する予定です。同日ですが、備前市内では、現在、西片上駅、吉永駅でイコカ利用開始記念式典を開催することを検討いただいております。

委員：日生駅ではしないんですね。

事務局：自治会連絡協議会を通じて依頼させていただいております。

委員：6月の自治会連絡協議会で、自治会の範囲の中にある駅でしようというところがあれば、一緒にやりましょうとお話しさせていただいております。その中で、今、やってみようとお話をいただいているのが西片上と吉永となっています。日生でもやってみようというお話をいただければ一緒にさせていただくよう考えています。また、9駅すべてで行うのが理想ですが、9駅すべてで行うのは難しいところもありますので、旧市町単位で開催できればと考えています。地域の方にイコカ

が導入されたことを知ってもらひ一つのきっかけとして開催できればと思います。
す。まだこれからですのでよろしくお願いします。

会 長：ほかにございませんか。無いようですので第1回公共交通会議を終了いたします。
本日はありがとうございました。